



知事より朝河貫一賞最優秀賞を受ける吉田さん



各部門で野口世世賞最優秀賞に輝いた皆さん

平成6年度中学校・高等学校生徒の国際理解・国際交流論文 朝河貫一賞受賞者一覧

中学校の部

| 賞 | 氏名 | 学校名 | 学年 | 論文のテーマ | 論文の要旨 |
|------|--------------------|-----------------|----|----------------|---|
| 最優秀賞 | よしだ めい恵 吉田 美恵 | 浪江町立 浪江中学校 | 2年 | 自国に自信と誇りを持つて | 2005年、私は外交官として世界で活躍中。1994年、私は本当の国際人向井千秋さんに憧れ、ネパールで医療活動を行う日本人医師を尊敬している。 国際交流の原点は、外国文化の本質的な良さを理解するとともに、自国の文化と自分に自信と誇りを持つことだ。 ★未来と現在の自分の姿を、4つの章で構成したスタイルが新鮮で、国際交流についての素直な考えがうまくまとめられている。 |
| 優秀賞 | たかの しずか 高野 静 | 飯野町立 飯野中学校 | 2年 | その日のために | 人の言葉を話せないイルカが自分の殻に閉じこもった子供の心を開かせるという。人のつながりは心から始まる。地球に住む人間は心を通して理解しあえる。私は素直な心と広い心を育て、真の国際化のために頑張りたい。 |
| | よしだ のぶ 吉田 しのぶ | 飯野町立 飯野中学校 | 3年 | 世界の中の日本の役割 | 日本は物質的に豊かで平和な国だが、自分さえよければという利己的で貧しい発想もみられる。世界の人人々と共に生きる日本人として何が出来るか。ルワンダ難民の子供を優しく介護する人に、私は心ひかれる。 |
| | たかま かずえ 高山 和恵 | 相馬市立 中村第一中学校 | 3年 | 悲劇的映像から私のできる事へ | ルワンダの痛ましい悲劇的な映像が私の心を強くとらえた。尊い生命が奪われている現状に対し、資金援助や同情以外に何が出来るだろうか。ボランティア活動など、私なりの第一歩を踏み出したい。 |
| | わたなべ ひろみつ 渡辺 浩充 | 浪江町立 東中学校 | 3年 | 日本人の心と国際貢献 | タンカー無線通信士である父が体験したインドでのことや難民船と遭遇した時の話から、自己の利益のみを追求する日本人の姿を知った。他国の価値感を認め、その国にあった援助をしていく必要がある。 |
| | くまもと ともこ 熊本 朋子 | いわき市立 平第一中学校 | 3年 | 異文化への理解 | アルゼンチンの女の子と同じクラスになり、お互いの国の文化を理解しあう難しさと喜びを知った。文化の違いが悲劇的な事件を生む。外国の歴史や文化を学び、素直な心を持つ国際人になりたい。 |

高等学校の部

| 賞 | 氏名 | 学校名 | 学年 | 論文のテーマ | 論文の要旨 |
|------|-------------------|----------------|----|----------------------|---|
| 最優秀賞 | さいとう あつし 齋藤 篤 | 県立 福島南高等学校 | 3年 | 私を「行動」に駆り立てたもの | タイのスラムの人々にカメラを向けた私に対する冷たい視線。現地の女性と遊郭に消えていく日本人観光客の一群。私は自己嫌悪に駆られ、強い怒りを感じた。2週間の研修で、日本人として感じた恥の体験から、高校生に何が出来るかを真剣に考え、博物館の戦争資料の説明文を模写し日本語に翻訳し編集して寄贈した。 ★タイでの心を動かされた貴重な体験を原点に平和な社会に向けて少しでも変わるよう行動に踏み出した過程が見事にまとめられている。 |
| 優秀賞 | たんじ としろう 丹治 俊郎 | 県立 福島高等学校 | 1年 | 「国際理解」は何故私たちに難しいのか | ジャーナリズムの片面的な固定観念による報道が外国の真の理解を妨げることがあり、国際理解の難しさの原因になっている。私は新聞などを丹念に読んで、国際理解のために正確な情報を手に入れる努力をしたい。 |
| | いまい こごす 今井 精 | 県立 福島農蚕高等学校 | 2年 | 農業を通して考えた世界の中の日本 | 農業高校生である私は、米の輸入やカナダでの体験から生産の喜びなど本当の豊かさについて考えた。表面的な外国の知識を捨てて優れた点を柔軟に受け入れ、的確に行動することが国際社会に生きる私達の役割だ。 |
| | いしかわ まおり 石川麻央里 | 県立 白河女子高等学校 | 3年 | 国際交流に大切なこと | オーストラリア一年の留学体験により、日本人が自国の文化を理解することや外国人とのコミュニケーションの難しさ・重要性を発見した。青少年が交流体験をたくさん積み重ねて、21世紀の国際社会の担い手になってほしい。 |
| | くさい あけみ 國井 朱美 | 県立 棚倉高等学校 | 3年 | 理想と共に 一真の国際人を目指して | 欧米への憧れと表面のカッコ良さで心を奪われた海外留学は、肝心の目的を見失わせている。国際交流とはアジアも含めた諸外国の姿を正しく理解し偏見をなくすことだ。私は真の国際人、朝河貫一博士の理想を目指したい。 |
| | おおお かずとし 大井 一敏 | 県立 平工業高等学校 | 3年 | 国際社会における日本の役割 | 日本が世界平和のためになすべきことは、戦争の悲惨さを体験した国として、紛争を平和手段によってのみ解決するよう、主張し行動していくことだ。国際社会で平和への新たな提言者として、日本の果たす役割は大きい。 |